

令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：令和3年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年2月19日（土） 16：00～18：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：今野 元 氏
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授)
8. 参加者数：88名（一般）

【概要】

ドイツ帝国成立（1871年）以前のドイツの国家形態の一例としてのドイツ連邦を再評価し、かつエステルライヒ（オーストリア）がドイツ史上果たした大きな役割を説き明かす講演が行われた。ドイツ連邦をめぐる様々な学説史を概括したうえで、神聖ローマ帝国の国制、フランス革命による神聖ローマ帝国の崩壊、ナポレオンの主導で結成されたライン同盟、メッテルニヒの主導で設立された国家連合としてのドイツ連邦、ドイツ連邦の連邦国家化への動き、ドイツ連邦の解体とドイツ帝国の成立過程を次々と考察していき、結論としてドイツ連邦を国際協調・多民族共存とナショナリズムの間の中庸、近世的要素と近代的要素との共存を求める試みとして位置づけた。

【チラシ】



愛知県立大学 地域連携事業

2021年度 第2回愛知県立大学世界史セミナー
ドイツ連邦とは何か
ドイツ国制史におけるその位置づけの再考

ドイツ帝国成立以前にドイツはなかったという歴史観が強いため、1871年以前のドイツの国家形態については理解が進んでいません。それでも最近では、神聖ローマ帝国やライン同盟については紹介が増えてきましたが、ドイツ連邦についてはまだのよう思われます。
本講では、ドイツ連邦をドイツ国制発展史のなかに位置づけ、それが連邦国家的国家連合であり、メッテルニヒによる勢力均衡の産物であったことを示していきます。

講師 今野 元 教授
愛知県立大学 外国語学部
ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻

参加費無料

日時 2022年2月19日(土) 16:00~18:00

場所 ①愛知県立大学サテライトキャンパス（定員30名）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「ウイックあいち」15階
②オンライン（Zoomウェビナー）（定員500名）

【申込方法】
愛知県立大学 地域連携センターWebサイトからお申込みください。
右のQRコードもしくは下記URLからアクセスしてください。
(<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/020368.html>)

主催：愛知県立大学（世界史研究会、地域連携センター）
【問い合わせ】
愛知県立大学 学務情報部 企画支援・地域連携課 メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

【講座の様子】

